

令和6(2024)年度栃木県普及指導活動外部評価結果

1. 評価

事務所名	上都賀農業振興事務所			
評価対象事例名	新技術導入による花き安定生産の推進			
項目	視点	評価		
		A	B	C
取組の背景・ねらい	①現状や問題についての分析は十分か	5	1	0
	②問題点に対し、適切な課題が設定できているか	4	2	0
	③施策に合わせた目標を設定しているか	1	4	1
活動対象・活動の内容	④活動対象の選定は適切か	3	3	0
	⑤課題や活動対象に対し、活動方法は適切か	4	2	0
	⑥市町・JA等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか	4	2	0
	⑦活動は計画的かつ効率的に実施されているか	3	2	1
	⑧農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか	3	3	0
活動の成果・今後の対応策	⑨実績に対する要因分析がされているか	0	5	1
	⑩残された課題について検討されているか	2	4	0

(1) 評価項目は、各項目の視点に基づき評価する。

(2) 評価基準は、消費者視点も踏まえた上で、以下の3段階とする。

A: 良好である B: 普通である C: 不良である

(3) 評価における数値は、評価対象事例の各項目に対して、A～Cを評価した外部評価委員数を表している。

2. 評価委員の意見

○技術普及のスタートとして成功していると感じました。

一方で、所得向上につながるのか。生産者全体に普及させるための今後の方策について検討いただきたい。

○新技術の導入を進めて欲しい。

○新技術導入の成果を「見える化」する等、普及成果を上げている。品質向上や安定生産には地域ぐるみの取り組みが重要なので、今後も新技術導入時の経費支援等も考慮に入れながらブランド力の維持、継続につなげて欲しい。

○気候変動による夏場の高温対策は早急な対応が求められている一方で、効果検証を行うのも短期間では難しいと思われるが、県内レベルでの情報共有、更にはメーカーとの連携も行い広い視野で取り組まれていることは良い視点だった。

○目的が「経営体の所得向上」、「品質向上」ということであるが、現状から見ると「維持・向上」ではないか。また、所得向上に関連した指標(A品率、出荷量、単価等)も記載があると良かった。

○今後も安定生産と産地活性化のため引き続きご指導をお願いしたい。

○上都賀地域の施設園芸のブランド化に向けたテーマ設定が良かった。リンドウやユリ、スプレーマムなどの質や生産性の向上に向けた新技術の導入は特筆される。

○LED利用や低濃度エタノールの土壌還元消毒法の推進に伴う設備投資費用と所得向上に関する具体的な説明に乏しかった。費用対効果について説得力のあるエビデンスと主張が欲しかった。

○施設園芸では、新技術導入はハードルが高い中ですが、しっかりと数字、実績も残せている。他の地区とも連携している点が評価できる。

○所得向上についての説明やデータがあると良かった。プロセスの事例があると理解しやすかったように思う。